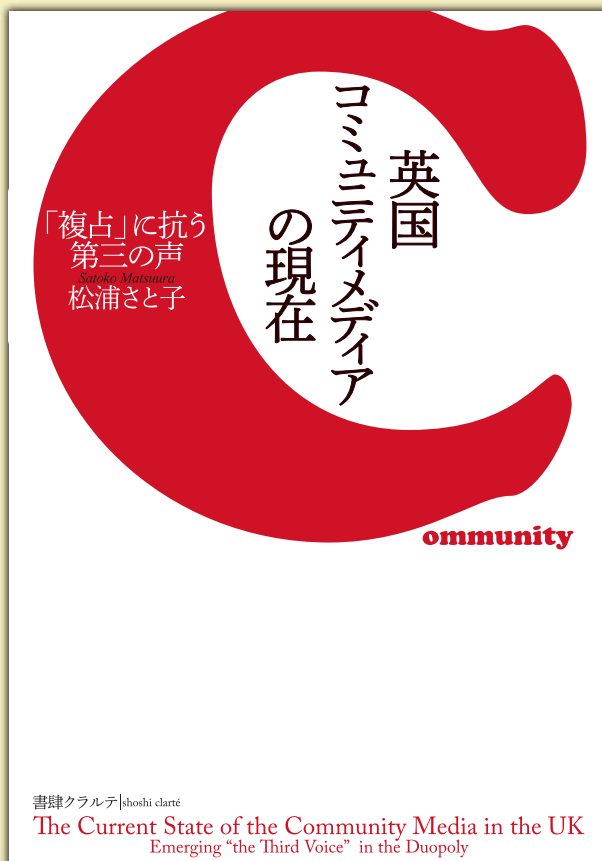


英国コミュニティメディアの現在

松浦さと子 著
(龍谷大学政策学部教員)



3.11のあと明らかになった日本の放送における
公共放送と民間商業放送の「複占」。
新たに活躍を始めた市民のメディアは、受信料からも、
広告費からも見放されていた。
立ち上がる「第三の声」を誰がどのように支えるのか。
英国ではインターネット全盛の現代においても、
もがきながらも「コミュニティラジオ」をはじめとする
「コミュニティメディア」活動が拡大している。
彼らは強大なBBCと追随する商業放送の「複占」に
早くから抗ってきたのだ。
私たちは、その力強さから何かを学びたい。

定価 2,300円+税(2,415円)
四六判/248頁
ISBN978-4-88602-664-4
発行：書肆クラルテ

書肆クラルテ shoshi clarté
The Current State of the Community Media in the UK
Emerging "the Third Voice" in the Duopoly

「コミュニティラジオ」という第三の放送制度の中こそ、
地域の切実な声や瑞々しい表現が溢れている。
新たな時代を拓く新たな放送モデルとは何か？
コミュニティで生き残るメディアにこそ決定的な鍵がある。

立命館大学教授 津田正夫

マスコミ不信が高まる中、
市民メディアを支えたいという声を耳にする。

しかし、日本には市民メディアを支える仕組みが全くない。
英国にヒントを得て、日本でも多様なメディアを育むシステムを作りたい。

特定非営利活動法人 OurPlanet TV代表 白石草

コミュニティが困難にさらされるとき、私たちは
少数の声が犠牲にされるのを見てきた。

どんなに経済的に苦しくとも多様な手段でそれらを生かそうとする
英国のコミュニティラジオの方法と思想に国際基準そのものを見る。

特定非営利活動法人 エフエムわいわい代表 日比野純一

【本書の内容】

- 第1章 英国コミュニティラジオ法制化までの経緯とCOMCOM
 - 第2章 コミュニティラジオのもたらす社会的利益
 - 第3章 「第三の声」の活動実態
 - 第4章 アイルランドのコミュニティメディア
 - 第5章 財源モデルをめぐる苦闘
 - 第6章 BBC、商業メディアとのパートナーシップ
 - 第7章 地方公共団体とのパートナーシップ
- おわりに 財源の多様化と、「違いを明らかにすること」
- 資料 放送の未来に関するアナン委員会の提言に対する
COMCOMコメント(抄訳)／
ヨーロッパ・コミュニティラジオ憲章／
了解覚書 コミュニティメディア協会(CMA)および
BBCイングランド地域(抄訳)／
日英コミュニティメディア年表

(2011年度龍谷大学出版助成を得て刊行しました)

申込書

英国コミュニティメディアの現在 松浦さと子 著/定価 2,300円+税(2,415円)	年 月 日	取次店・書店名
	冊注文します	
お名前		
ご住所		
お電話番号		

お近くの書店へご注文ください。なお、直接小社へご注文の場合は送料として290円をご負担いただきます。

発売元： 株式会社 朱鷺書房
〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路1-1-9
http://www.tokishobo.co.jp/
TEL.06-6323-3297 FAX.06-6323-3340

発行元： 書肆クラルテ
〒603-8237 京都市北区紫野上若草町31-1
http://www.clartepub.co.jp/
TEL/FAX.075-495-4839